



株式会社マキノグリーン SDGs宣言

当社は、「自然環境に配慮した共生緑化を目指す」という経営理念のもと、

事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、

地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年3月7日

株式会社マキノグリーン

代表取締役 深浦 邦彦



重点項目(ターゲット2030)

緑化工技術の推進

長年磨き続けてきた職人魂を發揮し、地についた技術を用いて環境共生社会の実現に取り組みます。誠意を尽くした施工を継続し、今後もより良い緑化工技術の探索・研鑽に努めてまいります。

【主な取り組み】

ISO9001・ISO45001の取得、顧客情報管理についてマニュアル作成、公正・公平な企業活動



安心して働ける職場環境作り

社員との面談や会議を定期的に行うことで、社員の声を活かした、働きやすい労働環境の実現を目指します。差別やハラスメントの無い、社員が安心して働く職場づくりに取り組んでまいります。

【主な取り組み】

「子育て応援宣言」、「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」、「福岡県介護応援宣言」、「飲酒運転撲滅宣言」等の登録



環境への配慮

地球温暖化を重要な経営課題の一つとして捉え、省エネ・リサイクルに努めます。本業を通じた緑化の普及や、CO2排出が抑制される工法を開発することで、環境保全に貢献してまいります。

【主な取り組み】

ISO14001の取得、CWOS緑化工法の利用、植物誘導吹付工の開発、ハイブリッド車の利用、紙の使用量削減



地域社会との共存

地域に密着した事業活動を通じて、地域の皆さまとの連携を大切にします。地域課題の解決や地域家材の活性化に取組み、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

【主な取り組み】

「北九州法面防災協会」加入、災害ボランティア・清掃ボランティア参加への参加



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。

